

## みんなで盛り上げよう！！『大塚オリパラデー2016』開催♪

附属大塚特別支援学校 深津 達也

2016年6月28日、本校の体育館は、熱狂の渦に包まれていた。幼稚部、小学部、中学部、高等部の全校の子どもたちが集まり、第一回目となる『大塚オリパラデー2016』が開催された。6月23日のオリンピックデーを記念して実施したイベントで、音楽イベント、体育イベント、食育イベント、そして国際教育イベントの4つの観点からなるイベントである。①オリンピック・パラリンピックへの興味関心、②スポーツや芸術分野の学習に主体的に取り組む資質、③様々な人たちと協力して活動に取り組む資質などを高めることを目指し実施した。

音楽イベントでは、本校オリジナルのサンバ曲『♪SUNサン・サンバ』（作詞・作曲 根岸由香）や『手のひらを太陽に』（NHKみんなのうた より）を歌ったり踊ったりして楽しんだ。躍動的なサンバのリズムが流れれば、身体が自然に動き出す。体育館はあっという間にコンサート会場に早変わりし、汗をたくさん流して、カー杯踊った。小学生の女の子が、幼稚部の男の子に「一緒に歌おう」と言って、手を差し伸べた。男の子は、手を握り、一緒に腕を振りながら笑顔で歌った。いつもは甘えん坊の女の子が、少しだけお姉さんに見えた一瞬だった。

体育イベントでは、本校小学部が体育で行っている『デカパンリレー』（大きな布のパンツに2人で入り協力して走るリレー競技）を行った。初めて一緒にペアを組んだ中学生と高校生は、ゴールの手前で転んでしまった。でも、みんなが大きな声で応援をした。2人は立ち上がり、ゴールまで走り切った。チームのみんなが笑顔で迎えた。順位は残念ながら最下位だったけれど、チームがひとつにまとまった瞬間だった。

食育イベントでは、給食にブラジルのメニューが並んだ。今年度は、給食で毎月世界の料理が出され、子どもたちは給食が楽しみでたまらない。小さなブラジルの旗が掲げられた給食と一緒に記念撮影をし、地球儀でブラジルを探す子どもたち。まだ見ぬ世界に思いをはせ、世界の国々の人たちとの出会いを楽しみにしている。

国際教育イベントでは、インド発祥のヨガを体験した。身体を激しく動かすのは苦手でも、柔軟性には自信のある生徒は、僕のポーズを見て！と自信満々で嬉しそう。いくつかのポーズを取りながら、「あ～～、い～～、う～～、え～～、お～～」と長くゆっくりと息を吐き出す子どもたち。「すっきりした！気持ちよかった」「毎日ヨガを続ければ、身体がやわらなくなるかな」と笑顔で語った。世界には、まだ見ぬ様々な体験が、たくさん待っていると思うとワクワクしてくる。

『大塚オリパラデー2016』を通して、子どもたちは積極的に交流し、ともに音楽やスポーツを楽しんだ。年齢や学部という枠組みなど、子どもたちはあっという間に飛び越えてしまう。しかしながら、そのきっかけがないのが現状である。この『大塚オリパラデー』が子どもたちを結ぶ一つのきっかけになればよいと考えている。



実践報告 ▶

